

令和5年4月 番組審議会議事録

株式会社び〜びる

2023年4月26日

作成：放送部 河谷嘉宏

## 令和5年4月番組審議会 議事録

- 日 時 令和5年4月26日（水）10：30～11：15
- 会 場 株式会社び〜びる 大会議室
- 出席者 委員長 瀬戸 伸雄（学校法人唐津学園理事長/虹ノ松原観光代表取締役社長）  
委員 石崎 有希子（唐津市政策部広聴広報課 課長）  
委員 栗原 宣康（唐津市 教育委員会 教育長）※新任（委員長）  
委員 中武 友子（相知町地域婦人会 会長）  
委員 松田 毅（佐賀新聞 唐津支社長）  
委員 山口 ひろみ（唐津市子育て支援情報センター センター長）  
委員 山下 正美（唐津商工会議所 専務理事）  
び〜びる 中村 隆（代表取締役社長）  
び〜びる 山下 善史郎（取締役常務）  
び〜びる 亀井 信一（取締役放送部長）  
び〜びる 松尾 卓（放送部課長）  
び〜びる 河谷 嘉宏（放送部）
- 欠 席 委員 伊藤 正一郎（唐津青年会議所 副理事長）  
委員 宮崎 吉輝（玄海町議会議員）
- 退 任 委員長 瀬戸 伸雄（学校法人唐津学園理事長/虹ノ松原観光代表取締役社長）

※敬称略。委員は50音順

## ■. 株式会社ぴーぷる社長 挨拶

審議会を年 2 回ほど想定して行っている。表現の言葉は注意を払っているが間違った表現も後から見るとあると思うので、各方面から様々な意見やご指摘を頂きたい。

## ■. 番組審議委員長 挨拶

コロナもこのまま治まってほしい。各方面から忌憚のない意見を頂き、有意義な番組にしていきたい。

## ■. 委嘱状授与

栗原 宣康（唐津市 教育委員会 教育長）※新任

番組審議委員 新任挨拶

テレビで番組審議会は拝見したことはありましたが、まさか私がここに来ると思っ  
ていませんでした。皆様と力を合わせながら、ぴーぷる放送を通して唐津が元気にな  
るようにしていきたい。

## ■. 番組審議（下記対象番組）

### 審議主対象番組①

『発信者になる ～博多織を世界へ～』（30分）  
【初回放送】2023年3月16日 【制作】丹野

現在、博多織業界は需要の減少や後継者不足による工場の閉鎖が続いている現状があります。そんな中、博多織の本場である福岡県から離れた唐津で、博多織の普及・発信活動に奮闘する1人の若手経営者、井上裕司さん（井上絹織専務取締役）に注目しました。番組では裕司さんが博多織の発信者として行うさまざまな活動に密着し、その思いなどに迫りました。

【補足：取材は継続中】

今回は発信者として裕司さんが先を見据えた種まきとなる活動を中心に収録し、今後は活動の反応や裕司さん自身の変化を継続してカメラに収めていく予定。

### ●主対象① 「発信者になる ～博多織を世界へ～」の意見（要約）

山下：どうして着目したのか背景が気になる。“やらなければならない”ではなく“やりたくてたまらない”という言葉があったが組織の上に立つ心構えをうまく拾っていた。

中武：相知平山下にも博多織をしている方がいる。婦人会も破材小物を作っているので興味深く拝見した。“作る努力”“伝える努力”と活動してある姿が伝わった。取材は継続中とのことで今後も楽しみ。

松田：発信者になる ～博多織を世界へ～のタイトルが非常にわかりやすい。今風な情報発信で若い世代に響くやり方だと感じた。唐津の伝統産業や伝統芸能などの繋がりなども期待している。

山口：何をしている所か気になっていたが番組を見て知ることができた。博多織が唐津でできていて情報発信をされていることを知ったので応援していきたい 30分あつという間で引き込まれていくような編集で見やすく理解しやすかった。地域密着で私たちが知らないことを知れる、頑張っている人が唐津にいる事を知るきっかけになる番組。

栗原：“モノを作る努力と同じくらい伝える努力をしないといけない”というメッセージが上手に取り上げられていた。この番組は子どもたちに見てもらいたい、子どもたちに伝わるものは大きなものがあると感じた。音楽の選曲がよかった。

石崎：「“伝える”と“伝わる”は違う」伝える努力をしていかななくてはならないと勉強させられた。後継者としていろんな媒体を使って情報を発信されていて勉強になった。

瀬戸：唐津の発展のために尽くしている。番組で取り上げることで本人のやる気も盛り上がる。継続取材も期待している。

亀井：普段情報番組の中でいろんな情報を取り上げている。普段の取材がきっかけで知り掘り下げたということが通常。独自のネットワークがある場合もあり今回取材にたどり着いた。

## 審議副対象番組 ①②

### ●副対象①『からとび』（15分）

【初回放送】月～金 18：45 毎日更新 【制作】 富永ほか

「大成公民館子ども教室クリスマス会」「第 16 回 Kinto 市民美術祭」の 2 本の話題と、「特集 乗田貞勝画業 50 年～」を放送。

特集は、地元の画家の集大成を PR し、多くの人が作品にふれる機会をバックアップしたいとの思いから取り上げました。乗田氏はエネルギーで、インタビューでは熱い思いを雄弁に語られ圧倒されましたが、その熱量も伝えられたらと思い制作にあたりました。

### ●副対象① 「からとび 2022年12月22日放送分」の意見（要約）

石崎：乗田氏のインタビューを通して情熱が伝わってきた。

栗原：“りふれのエントランスの壁画は見たことある”と誰もが乗田さんに繋がる番組の始まりだった。考えられた番組の構成。

山口：熱い情熱を持った方が地域にいることを子どもたちや多くの人に知ってもらいたい。地域の小さいエリアでもぴーぷるは紹介してくれてうれしく思う。

松田：熱い思いを語られ編集が大変だったろうなと。乗田氏の人生観や世界観を表す言葉を的確に出されていた。このような方を取り上げるのが我々の役目。頑張ってもらいたい。

中武：大成公民館クリスマス教室は婦人会の頑張りがわかる。取り上げてもらえると励みになる。

山下：うまくナレーションで思いを伝えてあった。

瀬戸：子どもたちとケーキを作る取り組みを楽しく拝見した。

●副対象② 町長報告番組『図書館等複合施設の整備 ～現状と検討内容～』  
【初回放送】2023年3月19日 【制作】中西・吉原彩 約22分

「子どものこころとことばを育む図書館」を目指して、玄海町が令和9年度の開館に向けて準備を進めている図書館等複合施設の現状と検討内容について脇山町長と担当課が説明しました。玄海町の未来を担う子どもたちのために玄海町が考えている図書館等複合施設の内容について町民にわかりやすく説明する番組にしています。

▶副対象② 「町長報告番組」の意見（要約）

石崎：同じ行政放送で興味深く拝見した。玄海町長自ら説明していて町民に説得力がある。課題も丁寧に説明していたので参考にしたい。

栗原：パワポの資料の出し方が工夫されていて見やすいく分かりやすい。映像と図面の提示の仕方がわかりやすい。資料の出し方など子どもたちが番組を見て学べると感じた。

山口：町民にわかりやすく取り組みを発信していた。町民にどれくらい浸透しているか追ってもいいのでは。

松田：現状の課題や方向性がわかりやすくまとめてあった。町長の人柄も出ていた。利用者の声もあれば親しみがわく。

中武：町長に好感がもてる。町の取り組みをテレビを通して行うのは良い。唐津市長も同じように出演しては。

山下：令和9年完成で長期間。市民会館より規模が小さいがゆっくり進んでいるなという印象。説明責任をきちんとしようということかと興味深く拝見した。

瀬戸：少子化と人口減で悩む時代で蔵書し充実を図る。人口が減らないような取り組み。

■. その他

中武：リンパ浮腫研究のクラウドファンディングを紹介してもらった。地元出身者の頑張りを取り上げてもらいうれしく思う。

## ■. 番組審議委員長退任および新任について

瀬戸（退任あいさつ）：6年務めた。皆様の協力で無事終了し退任の日を迎えた事をうれしく思う。今後は影ながら放送を見ていきたい。

栗原（新任あいさつ）：今まで外から見ていたこの番組審議会のメンバーに入れて頂いて委員の皆様と一緒により良い番組作りについて考えていく一翼を担わせていただけることをうれしく思っています。役不足な点もありますが皆様と一緒に力を合わせながら頑張りたい。

## 6. 次回番組審議会について

次回番組審議会の開催日については改めてご案内いたします。

## 7. 閉会